

国 人 改 第 89 号  
昭和 51 年 11 月 18 日

文部大臣  
永 井 道 雄 殿

国立大学協会  
会長 林 健 太 郎

**国立大学共通第一次試験実施による大学入学者  
選抜方法の改善について(要望)**

当協会は、昭和 45 年以来、国立大学における入学者選抜方法の改善について調査研究を行ってきましたが、さきの第 58 回総会において、「国立大学共通第一次試験による大学入学者選抜が、現行の大学入学者選抜の改善に資する」との判断をしました。

本第 59 回総会において、「国立大学共通第一次試験実施による大学入学者選抜方法の改善は、国立大学共通第一次試験に係る所要の諸施策が行われ、残された諸問題が解決される見通しを得るに至ったので、入学者選抜期日の一元化とともに、昭和 54 年度大学入学者選抜から実施可能である」との判断に達しました。

つきましては、当協会の調査研究の趣旨に即し、周到な準備と万全な実施計画によって、これらの改善が実現されるよう所要の施策を早急に講ぜられるとともに、当面、昭和 52 年度においては、全国立大学が共同で利用する機関として国立大学全体の意志を反映し得る機構を持った「大学入試センター(仮称)」を設置し、その整備と必要な人員の配置を行い、大規模な試行テストの実施等実施準備に関し、所要の経費を計上され、各大学における実施組織の整備を図られること等を強く要望します。

なお、国立大学共通第一次試験の実施に関する諸問題について、今後とも引き続き連絡協議をいたしたいと存じます。